

報道機関 各位

北九州市環境審議会答申手交式の実施について

～ 北九州市公害防止条例の一部改正について(答申)～

本市では、戦後の経済の急拡大に伴う大気汚染や水質汚濁など、激甚な産業公害の対策として、北九州市公害防止条例を制定し、市民の健康保護及び生活環境の保全に努めてきました。その結果、大気環境や水環境などはおおむね環境基準に適合するなど、良好な環境が維持されています。

一方、石綿(アスベスト)を含む可能性がある民間建築物の解体工事が今後増加するとされており、市民の安全・安心確保のため、石綿の飛散防止に向けた取組の強化が求められています。

そこで、昨年1月、北九州市環境審議会(会長 浅野 直人氏)に北九州市公害防止条例の一部改正について諮問し、この度答申を取りまとめていただきました。

については、下記のとおり、浅野会長から武内市長に対し、答申の手交式を行います。

記

1 日時

令和5年4月6日(木) 14時45分～ 15分程度

2 場所

北九州市役所本庁舎 5階 第一応接室

3 出席者

北九州市環境審議会 会長 あさの なおひと 浅野 直人 氏 (福岡大学 名誉教授)
北九州市 市長 武内 和久

【添付資料】

・答申の概要及び北九州市環境審議会における審議経過

※ 答申書は、4月6日(木)に下記の市ホームページに掲載予定

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/00600149.html>

(答申手交式に関すること)

環境局 総務政策部 総務課
担当:(課長)杉本、(係長)井上
TEL:093-582-2173

(答申の内容に関すること)

環境局 環境監視部 環境監視課
担当:(課長)江藤、(係長)高橋
TEL:093-582-2290

「北九州市公害防止条例の一部改正について(答申)」の概要

1 概要

北九州市公害防止条例(以下「条例」という。)制定当時は問題となっていなかった建築物・工作物の解体時の石綿(アスベスト)飛散防止については、平成8年より順次、大気汚染防止法(以下「法」という。)が改正され規制が強化されているものの、国が試算した建築物解体件数のピークが令和10年頃であることを見据え、更なる市民の安全・安心を確保するため、石綿に関する規定を条例に新設する必要がある。

また、市では公害規制法令や条例を一体的に運用し、様々な施策に取り組んできた結果、産業公害は克服され、ほとんどの項目で環境基準に適合する等、現在は良好な環境が保全されている。このような状況を踏まえ、制定当時は必要であったが現在では役割を終えた「市の責務規定」や、現在は環境基準に十分に適合している「硫黄酸化物に関する規定」等を廃止して差し支えない。

2 主な内容

(1) 石綿に関する規定の新設






- 市の責務に石綿の飛散を抑制するよう必要な措置を講ずることを明記するとともに、解体等工事関係者に対し、飛散防止の努力規定を追加する必要がある。
- 大気汚染防止法に基づく届出対象工事の届出者に、現在、行政指導で提出を求めている作業完了後の報告書の提出を義務付ける必要がある。(参考資料参照)

(2) 環境の改善に伴う規定の見直し

- 市の住工分離事業や公害防止融資制度は、市の公害対策に大きな成果を上げてきたが、現在は、対策が完了し他の法令の規定や制度が充実してきたことから、「市の責務」から当該事項に係る条文を廃止して差し支えない。
- 大気中の硫黄酸化物については、現在、環境基準に十分に適合している状況を踏まえ、大気汚染防止法に基づく規制で対応可能であることから、同物質に係る「特殊気象発生等の緊急時の措置」や「事業者の自動測定装置の設置義務」の規定を削除して差し支えない。

石綿除去工事に係る法規制と答申を受けた公害防止条例改正による規制のイメージ

(: 大気汚染防止法による規制 : 公害防止条例改正による規制)

| 石綿含有建材の種類 | 吹付け (Lv1) (発じん性: 著しく高い) | 断熱材等 (Lv2) (発じん性: 高い) | 成形板等 (Lv3) (発じん性: 比較的低い) |
|-----------|---|---|---|
| |  |  |  石綿含有スレート波板  外壁のサイディング  天井の石膏ボード など |
| 工事着手前 | 石綿含有調査(すべて)、市への結果報告(80m ² 以上等) | | R2 法規制新設 |
| | 市への作業実施届出 (負圧隔離養生、集じん機設置等の内容) | | |
| 工事中 | 作業基準の遵守 【作業基準(吹付け、断熱材等)】 ・負圧隔離養生 ・集じん機の設置、稼働 ・除去工事終了後の作業場内石綿濃度測定など | | R2 法規制新設 |
| | 作業基準の遵守 【作業基準(成形版等)】 ・ <u>手ばらし作業が基本</u> | | |
| 工事完了後 | 法規制なし ↓ 答申: 新たに条例による規制を新設 | | |
| | 市への工事完了報告 (工事期間中の作業基準の遵守結果など) | | |

北九州市環境審議会における審議経過

| 開催日等 | 審議内容 |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 【第 62 回環境審議会】 令和 4 年 1 月 13 日 | ○北九州市公害防止条例の一部改正の諮問 ・改正の方向性の検討 |
| 【第 63 回環境審議会】 令和 4 年 6 月 28 日 | ○パブリックコメント案の審議 |
| 令和 4 年 8 月 23 日～ 令和 4 年 9 月 26 日 | ○市民意見の募集(パブリックコメントの実施) |
| 【第 64 回環境審議会】 令和 5 年 1 月 19 日 | ○パブリックコメント実施結果の報告 ○答申案のとりまとめ |